

令和6年度 静岡県西部・中東遠地域大規模氾濫減災協議会

令和6年度取組報告と 令和7年度以降の取組予定

- 令和6年度は、「流域治水として貯留機能(校庭貯留)の確保」などに取り組んでいる。
- 今後も関係機関と連携を図り、取り組みを継続していく。

● 主な取組内容(R6年度)

○ 流域治水として貯留機能(校庭貯留)の確保

浜松市総合雨水対策計画を改定し、校庭貯留対象校を44校に拡大し、6年度では整備工事を実施し、5校の校庭貯留施設を整備。



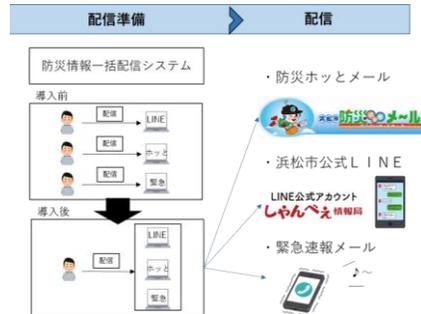
○ 浸水センサを設置し河川管理の高度化を図る

国土交通省の実証実験に参加し、市内の浸水常襲地区5カ所に浸水センサ10基を新たに設置した。



○ 防災情報発信の強化

迅速かつ確実な避難情報の発信を行うため、緊急速報メール、防災ホットメール(登録制防災情報配信メールサービス)、市公式LINEによる防災情報を一括で配信できるよう、防災情報一括配信システム導入した。



○ 住民主体の減災プロジェクトの推進

災害を自分ごとと捉え、防災気象情報等を基に、主体的に避難行動を考え、判断できるよう、自主防災隊へ「わたしの避難計画」の作成に関する説明会(「わたしの減災プロジェクト」)を開催した。



※R6年度時点の取組結果(予定含む)を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性がある

取組実績

取組予定

対象外

●今後5カ年のロードマップ

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度～
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	災害対応に伴い避難判断マニュアルの検証実施	○ 避難判断マニュアルの検証を行い必要に応じ見直しを行う。
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	災害対応に伴いタイムライン等の検証実施	○ 関係課等と連携して必要に応じタイムラインの見直しを行う。
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	避難確保計画作成、訓練実施の呼び掛け実施	○ 避難確保計画の作成と避難に係る訓練の実施を呼び掛ける。
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	出前講座の実施	○ 出前講座等を通じて「わたしの減災プロジェクト」を開催し、「わたしの避難計画」の作成を促進し、水害リスク情報の共有を図る。
	■ 自主防災体制の強化	自主防災隊への一斉連絡メールの登録依頼の実施	○ 風水害時における自主防災隊のアクションカードの見直し、及び周知する。一斉連絡メールへの登録を推進する。
	■ 水災害教育の充実	防災ノートの配付、出前講座の実施	○ 小中学校における総合学習講座や浜松市防災学習センターで開催する講座などにおいて水災害教育に努める。
	■ 避難行動を促す取組	市ホームページ等による情報提供の実施	○ 市ホームページ等を活用し雨量や水位に係る情報や緊急避難場所の開設状況等を発信する。
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	防災ホットメールやLINE等の各種配信ツールによる避難情報の一括配信	○ 浜松市防災ホットメールやLINE等の一括配信や同胞無線等により避難に資する情報を発信する。
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	水防団水防演習、重要水防箇所合同巡視の実施	○ 水防演習等の実施による水防団との連携、水防活動に活用する資材の充実を検討する。
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組	排水資器材の情報把握	○ 地域（消防や建設会社）が有するポンプ等の情報把握に努める。
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進	九領川河川整備、校庭貯留施設の整備	○ 河川整備計画や浜松市総合雨水対策計画に基づく九領川等の改修を推進する。
	■ 河川における機能の確保	市管理河川の堆積土砂撤去	○ 市管理河川について巡視、点検により状況を把握し、支障がある箇所については堆積土砂の撤去・樹木伐採等を実施する。
	■ 施設能力を上回る洪水への対応	河川巡視・点検を実施	○ 河川改修等に合わせて堤防天端舗装を実施する。
	■ 被害軽減のための迅速かつ確実な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	水位計、量水計の設置検討、水防倉庫整備の実施	○ 水位計や量水標の設置の検討や水防倉庫の整備を実施する。
■ 河川管理施設の整備等に関する事項	流域治水協議会にて台風等の浸水被害の検証、対策検討	○ ダム管理者と流域治水協議会において協議・確認する。	
■ 被害対象を減少させる対策	防災指針の記載内容の検討	○ 立地適正化計画において防災対策・安全確保策の記載を検討する。	

●令和7年度の取組予定

■ 流域治水の推進

貯留施設整備による流出抑制対策
・浸水リスクが高い重点対策エリア等の小中学校44校を対象に進めてきた貯留施設整備を引き続き、関係機関と連携を図りながら実施する予定。

■ 河川機能の確保

・市が管理する河川について、堆積土砂や河道内樹木が流下能力の阻害となっている箇所について、堆積土砂の浚渫及び樹木伐採を行い河川機能の健全性を確保する。

■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組

・洪水浸水想定区域内の要配慮者利用施設における避難確保計画の作成と避難に係る訓練の実施を推進し、避難確保計画及び訓練実施報告の提出を求める。

■ 災害を自分ごとと捉える取組

・「わたしの減災プロジェクト」を実施し、「わたしの避難計画」作成の促進を図ることで、市民が災害を自分ごとと捉えるための一助とする。

【磐田市】 取組報告（R6の取組内容）

- 洪水避難訓練を実施し、公共施設の高層階への避難を体験するとともに、ハザードマップの見方やマイ・タイムラインや簡易水防工法の周知を行った。
- 地震だけでなく水害にも備えるため、避難所（緊急避難場所）の高層階に分散備蓄を開始した。
- 防災講座を市民活動団体に委託し、より市民に近い目線での啓発活動を実施した。

●主な取組内容(R6年度)

○「洪水避難訓練」の実施

令和6年6月に洪水避難訓練を実施した。

- ・訓練日までにハザードマップにより自宅の危険性と避難先や避難のタイミングを確認
- ・訓練当日は公共施設の高層階に避難
- ・「マイ・タイムライン」や「わたしの避難計画」の啓発
- ・消防団による簡易水防工法の紹介



令和6年度
洪水避難訓練
実施のお知らせ

天竜川の氾濫を想定した訓練を行います。

自宅の危険性を確認しよう！
避難先や避難のタイミングを確認しよう！

避難先は自宅の危険性を確認しよう！
避難先は自宅の危険性を確認しよう！

日時 6月30日(日) 9時から11時まで
場所 豊岡南小学校 又は 自宅

豊岡南地区の皆さんへお願い

- 1 ハザードマップで自宅の危険を確認しよう！
●●ページを確認し、自宅の危険箇所を確認してください。
- 2 避難のタイミングを考えよう！
●●ページを確認し、避難のタイミングを確認してください。
- 3 実際に避難してみよう！
9:30「高齢者等避難」、10:00「避難指示」を発令します。
- 4 今回の訓練で選択した避難行動を教えてください。
訓練終了後、図書フオーム(2階)に集まりアンケートから回答と「わたしの避難計画」の作成をお願いします。

磐田市危機管理課 0538-37-2116

前日までに

①ハザードマップ(●ページ)で自宅の危険を確認しよう！

- ・自宅の場所に○をつける。
- ・自宅は何色に塗られているかを確認。

河川氾濫により家屋倒壊の危険あり
⇒「豊岡南小学校」へ避難

3階以上の避難が必要
⇒「豊岡南小学校」へ避難
※自宅が3階以上の方は自宅の3階以上でも可

2階以上の避難が必要
⇒「自宅2階以上」又は「豊岡南小学校」へ避難

避難の必要なし

わたしの避難場所は ① _____ です

②避難のタイミングを考えよう！

避難に時間がかかる方
⇒「高齢者等避難」で行動を開始。

それ以外の方
⇒「避難指示」で行動を開始。

わたしの避難のタイミングは ② _____ です

※この訓練は天竜川の水位上昇による洪水を想定した訓練です。最善の避難行動がとれるよう事前時から準備してください。
・実災害は、土砂災害等が確率的に発生しこの限りではありません。
・自宅の2階に避難する場合は、水が引くまで我慢できる量の水・食料・トイレ等の確保が必要です。

○高層階への分散備蓄

地震だけでなく水害にも備えるため備蓄品を避難所（緊急避難場所）の高層階に分散備蓄を開始した。

- (備蓄品)
- ・飲料水
 - ・便処理袋
 - ・かんぱん



○市民団体による市民目線の防災講座の実施

防災講座を市民団体に委託し、より市民に身近な立場から、ハザードマップの見方や、災害に対する備えの講座を実施した。



取組実績

取組予定

対象外

●今後5カ年のロードマップ

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度～
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	職員参集基準の見直し	避難情報の判断・伝達マニュアルの随時見直し
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	危機管理ヒアリングを実施行動計画の検証を実施	各団体の災害時における活動拠点の整理
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	新規事業者への説明を実施	避難確保計画に基づく避難訓練の実施の呼びかけ
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	内水浸水想定区域図作成	中小河川ハザードマップの作成、内水浸水想定区域図作成
	■ 自主防災体制の強化	自主防災会への研修会の実施	防災講座や訓練の継続実施
	■ 水災害教育の充実	市民団体による防災講座実施	小中学校及び市民向けの講座の実施
	■ 避難行動を促す取組	洪水避難訓練の実施	洪水避難訓練の継続実施
	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	SNS等を活用した情報発信	情報発信ツールの研究
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	天竜川重要水防箇所合同巡視	合同巡視の継続
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組	弁天川樋門設置	弁天川ポンプ設置、雨水排水ポンプ場設備増強・更新
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進	水災害対策プラン・いわた流域治水共創プロジェクトに基づく着実な治水・浸水軽減対策の推進	
	■ 河川における機能の確保	河川パトロールの継続実施、河川・調整池等の浚渫	河川パトロールの継続実施、河川・調整池等の浚渫
	■ 施設能力を上回る洪水への対応		
	■ 被害軽減のための迅速かつ確実な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	浸水センサーの増設	効果的な浸水センサ運用方法の検討
	■ 河川管理施設の整備等に関する事項	浸水被害軽減のための大島排水ポンプ場の整備	雨水排水ポンプ場の改築更新、設備増強・更新
	■ 被害対象を減少させる対策	立地適正化計画(防災指針の策定を含む)	宅地建物取引団体等への水災害リスク情報の提供

●令和7年度の取組予定

■ 洪水・土砂災害避難訓練の実施

河川の氾濫に加え、土砂災害のリスクも踏まえた避難訓練を検討。希望する地域を募り、基礎知識の習得から、避難の実践まで、リアルを追求した訓練を実施

- ・洪水、土砂災害のリスク確認
- ・避難先の検討
- ・避難の実践

■ 中小河川ハザードマップの作成

より市民に身近な中小河川のハザードマップを作成し、継続的な周知・啓発より市民の防災意識・防災力を底上げ

- ・HPIによる周知
- ・防災講座等による周知

- 出前講座、防災リーダー養成講座等を継続的に実施し、地域防災力の向上を図る水災害教育に取り組んでいる。
- 防災メール・防災ラジオ等を活用した災害情報の取得を市民に周知し、円滑で確実な避難に資する情報発信に取り組んでいる。

●主な取組内容(R6年度)

○防災リーダー養成講座(初級編)を実施

令和6年6月、7月、11月に地域防災力の向上を目的として、水害の発生原因や情報の収集、避難のタイミング等の講座を実施。



○水防訓練を実施

令和6年5月に自主防災会、建設業組合、水防団、消防本部、高校生ドローン防災航空隊が協働し、出水時の防災体制の確認と水防工法技術の習得と被害状況の確認訓練を実施。



○流域一体型タイムライン策定に向けた読み合わせ訓練を実施

国・県・掛川市の参加による読み合わせ訓練を令和6年5月に実施。
フェーズごとに防災行動及び関係機関間の連携行動、役割分担等を確認。



○河道内堆積土砂の浚渫を実施

普通河川清ヶ谷川(山崎地内)ほか9河川の浚渫工事を実施。



着工前

完成後

普通河川清ヶ谷川の浚渫状況

●今後5カ年のロードマップ

項目		取組実績			取組予定			対象外		
		令和6年度	令和7年度	令和8年度～	令和6年度	令和7年度	令和8年度～	令和6年度	令和7年度	令和8年度～
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組		洪水対応演習訓練の実施	ホットライン・洪水対応演習等情報伝達訓練の実施、発令基準を適宜見直し等						
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定		対応行動整理表に関する勉強会実施	対応行動整理表の更新、洪水時の情報伝達体制・方法について関係機関と検討等						
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組		高齢者福祉施設の避難確保計画の更新 作成率は100%	施設管理者への防災情報等の提供、研修会を適宜実施等						
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組		洪水浸水想定区域図(掛川市防災ガイドブック)の更新・配布	洪水浸水想定区域図(掛川市防災ガイドブック)の更新・配布、広域避難体制の検討等						
	■ 自主防災体制の強化		出前講座の開催	防災情報の提供、活動の支援、出前講座の開催等						
	■ 水災害教育の充実		出前講座・防災リーダー養成講座の開催	出前講座・防災リーダー養成講座の開催等						
	■ 避難行動を促す取組		掛川市防災ガイドブックを更新・配布し、マイ・タイムライン(家庭の避難計画・デジタル版)の推進	掛川市防災ガイドブックを更新・配布し、マイ・タイムライン(家庭の避難計画・デジタル版)の推進、出前講座の開催等						
	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信		同報無線(防災ラジオ)・災害メール等の活用	同報無線(防災ラジオ)・災害メール等の活用等						
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組		重要水防箇所合同巡視に参加水防訓練の実施	国主催の重要水防箇所合同巡視に参加、水防訓練の実施等						
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組		ポンプ数の情報を把握・整備・排水ポンプ管理運用等継続実施							
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進		田んぼダム実証実験(継続)	ため池や水田など流域の貯水機能の保全、確保などの流出抑制対策の推進、田んぼダム拡大に向けた検討等						
	■ 河川における機能の確保		河川の河道掘削等の実施	巡視や地元からの情報提供により状況を把握し、国または県については随時報告、撤去要望。市河川は必要時、堆積土撤去等を実施する						
	■ 施設能力を上回る洪水への対応									
	■ 被害軽減のための迅速かつ確かな水防活動、排水活動に資する基盤等の整備		土のうステーション設置の補助	小河川の水位センサーによる水位情報提供、各地区に土のうステーション設置の促進・補助等						
	■ 河川管理施設の整備等に関する事項			県管理河川フラップゲート化検討						
	■ 被害対象を減少させる対策		水田貯留について検証・拡大等							

●令和7年度の取組予定

■水災害教育の充実

地域の自主防災組織を対象に、防災知識と救助技術等を身につけた防災リーダーを養成し、「地域で守る」共助(近助)の力、地域防災力の向上を目的として防災リーダー養成講座を開催。水害の発生原因や、情報の収集、避難のタイミング等を学習。



防災リーダー養成講座

■避難行動を促す取組

掛川市防災ガイドブックを使用し浸水実績等の周知、マイ・タイムライン(家庭の避難計画およびデジタル版家庭の避難計画)を推進し水害リスクに対する理解促進に取り組む。



- 令和4年度は「消防(水防)団員への水防工法研修会の実施」「消防(水防)団員確保に向けたPR活動の実施」「重要水防箇所及び水防倉庫の巡視」等に取り組んでいる。
- 引き続き、現在の取組を推進していくとともに、過去に実施した取組についても、他の構成機関を参考に適宜見直しを行い、内容をより充実させていく。

●主な取組内容(R6年度)

○消防団(水防団)員への水防工法研修会の実施

出水時期や合同水防工法訓練を迎えるにあたり、消防(水防)団員に対し、水防工法の講習会を行い、有事の際に現地で直ちに活動できるよう、土のうの作成方法や釜段工、シート張り工法などの各種水防工法について学んだ。



○消防団(水防団)員の合同水防工法訓練への参加

近年の風水害被害の多発化、激甚化に対応するため、磐田市、袋井市、森町の3団合同による、水防工法訓練を行った。訓練では、積土のう工や釜段工、せき板工など計6工法について実演した。本取り組みは来年度以降も継続して行っていく。



○重要水防箇所及び水防倉庫の巡視

洪水発生時の迅速かつ的確な水防活動に備え、袋井土木事務所、太田川流域市町と合同で重要水防箇所と水防倉庫を巡視し、現況確認と資機材の数量等の点検を実施した。



○土のうステーションの設置

浸水常襲地区に土のうステーションを整備した。



取組実績

取組予定

対象外

●今後5カ年のロードマップ

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度～
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	避難判断マニュアルの確認	避難判断マニュアルの更新 ホットライン体制の維持 等
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	避難に関する意見交換会の実施 等	
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	避難確保計画作成の推進	要配慮者支援施設の管理者を対象とした防災情報等の提供及び理解促進 等
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	中小河川浸水想定区域図の作成・配布	想定最大規模降雨に対応した洪水ハザードマップの周知 中小河川に対応した洪水ハザードマップの作成 等
	■ 自主防災体制の強化	3回(R6.4、R6.7、R6.10)の防災隊長会議における講話	自主(連合)防災隊長会議等における研修会の実施
	■ 水災害教育の充実	水害対策チラシ作成及び配布等(約20,000部)	出前講座・ワークショップの実施 防災ガイドブックの周知・更新等
	■ 避難行動を促す取組	登録制メール配信サービス登録者向上の取組み	雨量や水位に係るリアルタイム情報の提供 マイ・タイムラインの研修会の実施
	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	登録制メール配信サービス登録者向上の取組み	登録制メール配信サービスの周知・啓発
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	消防(水防)団員確保の取組み	消防(水防)団員の確保に向けた広報活動・PRの実施等
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組	地域が有するポンプの性能検査の継続の実施	
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進	校庭貯留施設整備、準用河川改修(松橋川・油山川)	河川整備計画等に基づく着実な治水対策の推進
	■ 河川における機能の確保	浚渫工事の実施(5河川)	河川内の堆積土砂撤去や樹木伐採等による流下能力の保全、河川管理の高度化の検討
	■ 施設能力を上回る洪水への対応		
	■ 被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	土のうステーションの整備(2箇所)	土のうステーションの運営・整備
	■ 河川管理施設の整備等に関する事項		
■ 被害対象を減少させる対策	立地適正化計画の見直しのための基礎調査実施	立地適正化計画における防災指針の記載(都市計画区域内)、宅地建物取引業団体への水災害リスク情報等の説明	

●令和7年度の取組予定

■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組

自らの地域は自らの手で守る！という気持ちで活動している消防(水防)団員の確保を行い、継続的な水防活動体制の持続を図るため、消防(水防)団員数増加の取組を実施します。

- ・袋井市消防団組織最適化検討会による組織最適化の検討
- ・市内イベント出展等によるPR活動 など

■ 避難行動を促す取組(浸水実績等の周知)

住民自身の避難行動を促す取組として、過去の浸水実績図を整備し、住民や転入者が水害リスク情報を容易に取得できるよう、市ホームページへの掲載方法の改善や、アクセス性の向上に取り組んでまいります。

- 令和6年度は、出水期前に水防体制の強化を図る目的で実施している「水防訓練」、地域住民の防災意識の高揚及び地域防災力の向上を図る目的で実施している「防災出前講座」、地域住民に確実かつ迅速な情報を提供するため「情報伝達手段の多元化」等に取り組んでいる。

● 主な取組内容(R6年度)

○ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組

令和6年5月に、水防体制の強化並びに水防工法の技術向上を図るため、市の水防班と地域の消防団との共同で水防訓練を実施。



土のう積み訓練



チェーンソー訓練

○ 避難行動を促す取組

防災出前講座を活用し、防災意識の高揚及び地域防災力の向上を図った。一部講座では、地域防災指導員が講師を行っている。



○ 円滑で確実な避難に資する情報発信

ウェブサイトや「防災ほっとメール」、湖西市公式LINEアカウントやX、Facebookなどを活用し、災害情報を提供。

その他、防災ほっとメール登録者数拡大に向けた広報紙等による周知、啓発を実施。



○ 河川における機能の確保

市が管理する河川について、堆積土砂の浚渫及び樹木伐採を行い河川機能の健全性を確保した。



整備前



整備後

取組実績

取組予定

対象外

●今後5カ年のロードマップ

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度～
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	気象台と静岡県との連絡体制の確認を行った	ホットライン体制の構築及び検証、避難勧告等発令の判断・伝達マニュアルの検証等
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	4月に自主防災会に対し説明会を実施し情報提供を行った	情報伝達手段の多元化・通信機器の更新、地域住民に確実かつ迅速な情報の提供等
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	防災研修会等への出席を働きかけた	確実な避難体制の確保のための避難確保計画に基づく避難訓練の実施等
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	自主防災会等に対し、情報提供をした	防災出前講座を活用した水害危険性の周知促進
	■ 自主防災体制の強化	防災意識の高揚、地域防災力の向上を図るため出前講座の実施	自主防災会が継続的かつ適切に運営されるための情報提供や体制・活動の支援
	■ 水災害教育の充実	防災意識の高揚、地域防災力の向上を図るため出前講座の実施	防災出前講座を活用した水害(防災)教育の拡充・支援体制の構築
	■ 避難行動を促す取組	防災意識の高揚、地域防災力の向上を図るため出前講座の実施	防災出前講座等を活用した住民向け防災情報の説明会・訓練の充実
■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	HPや防災ほっとメール、LINE、SNSなどを活用し災害情報を提供	避難行動を促すためのスマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供等	
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	5月に地域の消防団と共同で水防訓練を実施	水防団員に対する教育・訓練(水防工法の伝承、安全教育など)の実施等
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組	9月1日に情報伝達訓練で建設会社の保有するポンプの状況を確認	地域が有するポンプ等(消防や建設会社)の活用に向けた情報の整理と共有
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進		
	■ 河川における機能の確保	地元要望等により堆積土砂を確認した箇所を管理者へ報告	河川内の堆積土砂撤去や樹木伐採等による流下能力の保全
	■ 施設能力を上回る洪水への対応		
	■ 被害軽減のための迅速かつ確実な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備		
	■ 河川管理施設の整備等に関する事項		
■ 被害対象を減少させる対策			

●令和7年度の取組予定

■水防体制の強化を図る
水害リスクの高まる出水期前に水防訓練を実施する

出水期前に、水防体制の強化並びに水防工法の技術向上を図るため、市の水防班と地域の消防団が共同で水防訓練を継続して実施。



■地域の防災意識の向上を図る
防災出前講座の更なる促進により、災害への備えを強化する

更なる防災意識の向上及び地域防災力の強化を図るため、地域防災指導員と連携した防災出前講座を継続して実施。



- 令和4年度は、「ハザードマップの周知」「出前講座等によるマイ・タイムラインの普及啓発・作成支援」「要配慮者利用施設における避難確保計画の作成・更新支援」等に取り組んでいる。
- 今後は、関係機関との連携及び流域治水プロジェクトと連携した取組を継続実施していく。

●主な取組内容(R6年度)

○令和6年6月 水防団との水防訓練を実施

令和6年6月に、水防体制の強化並びに水防工法の技術向上を図るため、水防団、地元防災役員、消防署及び自衛隊と水防訓練を実施。



○出前講座等によるマイ・タイムラインの普及啓発、作成支援

ハザードマップの周知による、自宅等の水害リスクを認識すると同時に、マイ・タイムライン・わたしの避難計画の普及啓発・作成支援をし、住民の水害への防災意識の向上を図った。また、専門的な知識を持つ「防災士」と連携した普及啓発を実施。



ハザードマップ マイ・タイムライン わたしの避難計画 住民への出前講座

○要配慮者利用施設における避難確保計画の作成・更新支援

対象施設の避難確保計画作成率は100%であるため、計画に基づく訓練実施の周知。

対象施設からの避難確保計画見直し等の支援の実施。

○貯留施設の整備の検討

市南部地域の浸水対策として、黒沢川流域の校庭貯留施設を整備中。また、農地への貯留施設を整備する計画を策定。



校庭貯留施設



農地への貯留施設

取組実績

取組予定

対象外

●今後5カ年のロードマップ

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度～
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	避難情報の判断・伝達マニュアルの見直しの実施	洪水対応演習への参加、「避難情報の判断・伝達マニュアル」の見直し等
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	タイムライン及び対応行動整理用表活用の実施	対応行動整理表の更新、洪水時の情報伝達体制・多言語化・方法について検討
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	施設管理者への啓発及び支援の実施	施設管理者への啓発・支援を実施
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	ハザードマップの周知の実施	ハザードマップの周知・県管理河川の浸水想定図作成に伴う見直し、周知方法の検討
	■ 自主防災体制の強化	自主防災組織への出前講座の実施	出前講座等による周知啓発
	■ 水災害教育の充実	出前講座の実施及びハザードマップの配布	学校における防災教育、出前講座等を実施
	■ 避難行動を促す取組	マイ・タイムライン・わたしの避難計画及び防災メールの普及啓発の実施	出前講座等によるマイ・タイムライン・わたしの避難計画の推進、防災メール「茶こちゃんメール」の普及啓発
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	同報無線・防災メール・SNS等を活用した情報発信の実施	同報無線や防災メール「茶こちゃんメール」、SNSを活用した円滑な情報発信の実施
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	河川合同巡視への参加及び水防訓練の実施	重要水防箇所での合同巡視への参加、水防訓練の実施
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組	消防で所持するポンプ車等の状況把握の実施	地域が有するポンプ等の活用に向けた状況把握を実施
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進	貯留施設等の整備計画の策定	河川整備計画に基づいた治水対策及び要望活動を継続実施
	■ 河川における機能の確保	河川管理者との連携の実施	河川の状況把握及び河川管理者との適切な情報共有を実施
	■ 施設能力を上回る洪水への対応		
	■ 被害軽減のための迅速かつ確実な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	河川防災ステーションを水防活動拠点の活用の実施	水防活動拠点としての河川防災ステーションの活用
■ 河川管理施設の整備等に関する事項			
■ 被害対象を減少させる対策	各種対策の検討及び水害リスクの情報発信の実施	有効な対策について検討及び計画の作成	

●令和6年度の取組予定

■避難行動を促す取組

マイ・タイムライン・わたしの避難計画の推進のため、防災士と連携した出前講座等の実施

水害リスクの再認識と、早期の避難行動を図るための取組として、マイ・タイムライン・わたしの避難計画の作成支援等の普及啓発を専門的な知識を持つ防災士と連携し、出前講座や学校教育等において実施する。



■水害リスク情報等の共有に向けた取組 水害リスクの周知促進のため、ハザードマップの周知及び県管理河川の浸水想定図作成に伴う周知の検討

令和3年3月に作成した想定最大規模のハザードマップの市民の認識度向上と、県による浸水想定図の作成に伴う周知を図るため、出前講座等での周知を行うと同時に市民からの意見を基に、効果的な周知方法の検討を行う。



- 令和6年度は、「水防活動している御前崎市消防団との風水害対策活動」「水防活動や緊急復旧活動に活用する資機材の導入」「防災アプリの周知普及」等に取り組んでいる。
- 今後は、自治会と協力して検討を進め、日ごろからの水防対策や水防訓練に関して啓発を行っていく。

●主な取組内容(R6年度)

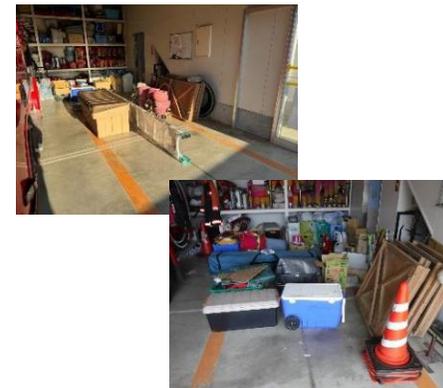
○水防活動している御前崎市消防団との風水害対策活動

台風や豪雨時の河川の氾濫に備えるため、市内に土のうステーションを新たに2か所設置。設置に伴う作業として、水防活動している御前崎市消防団と土のう作成。また、水防工法技術の習得を目的として、消防協会小笠支部にて水防訓練研修会など風水害対策活動を実施。



○水防活動や緊急復旧活動に活用する資材の導入

水防活動や緊急復旧活動に活用する資機材（土のうの固定などに使用する杭木や掛矢、照明器具など）を水防活動している御前崎市消防団の活動小屋に設置。



○防災アプリの周知普及

災害時に確実かつ迅速な情報を提供するため、情報伝達に活用する防災アプリを令和5年度に導入。

防災アプリでは、災害情報や同報無線放送の内容、避難所の情報など確認することができる。

今年度は、SNSやチラシ、出前講座等で防災アプリの周知を及び普及を図った。



取組実績

取組予定

対象外

●今後5カ年のロードマップ

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度～
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	連絡体制と発令基準の見直し	非常時の連絡体制や避難指示の発令基準についての見直し 等
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	マニュアルの修正	対応行動整理表やマニュアル等の見直し 等
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	訓練実施等に関する依頼	要配慮者施設で作成している避難計画の見直しや訓練の実施の推進 等
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	情報連絡体制の見直し	情報連絡体制の見直しや新たな連絡体制の構築について検討 等
	■ 自主防災体制の強化	関係自主防災会の水防体制の見直し	自主防災会との協議による、連携強化のため今後の水防体制の見直し 等
	■ 水災害教育の充実	防災学習での講義の実施	防災学習や防災に関する講演会などの開催を通して、水災害についての啓発 等
	■ 避難行動を促す取組	避難行動マニュアルの作成の推進	防災についての知識の取得の促進や避難行動についてのマニュアルなどの作成 等
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	情報発信方法の検討及び見直し	情報発信方法の見直しや御前崎市のSNSなどを活用した新規の情報発信方法について検討 等
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	他市の水防訓練の見学会の実施	定期的な水防に関する勉強会や水防訓練の開催 等
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組	排水に関する設備の検討や関係機関との排水計画に関する協議 等	
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進	河川計画に基づく治水対策の継続実施 等	
	■ 河川における機能の確保	協力体制の見直し	河川管理者との協力体制の見直しや市としての対応の検討 等
	■ 施設能力を上回る洪水への対応		
	■ 被害軽減のための迅速かつ確実な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備		
■ 河川管理施設の整備等に関する事項			
■ 被害対象を減少させる対策	指導員等と意見交換会を実施	指導員等と安全なまちづくりのための協議や検討 等	

●令和7年度の取組予定

■新たな洪水ハザードマップを作成

県による洪水予報河川、水位周知河川以外の洪水浸水想定区域図の公表（R4年6月より、計9河川）を受け、その他河川の洪水ハザードマップを作成する。



■水防活動や緊急復旧活動に活用する資材の導入

水防活動や緊急復旧活動に活用する資機材（土のうの固定などに使用する杭木や掛針、照明器具など）を水防活動している御前崎市消防団の活動小屋に新たに設置する予定。



- 令和6年度は、自主防災会を中心とした防災連絡会や出前講座を実施し、防災意識の高揚を図った。
- 町内の内水氾濫のリスクの高い箇所へ冠水センサーを設置し、住民に対する早期避難のための取組を行った。

●主な取組内容(R6年度)

○自主防災会を中心とした防災連絡会を実施

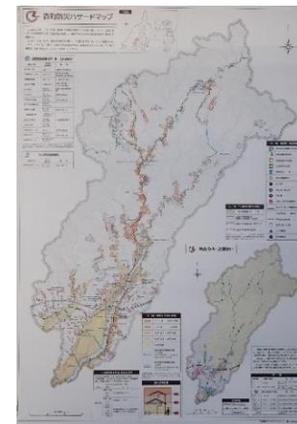
令和6年5月に自主防災会、学校関係者等を対象に防災連絡会を実施。自主防災会としての役割についての確認や、HUG訓練によりゲーム形式で避難所の運営についての習熟を図った。



防災連絡会
(令和6年5月23日)

○ハザードマップの作成

町内を流れる小規模河川の浸水データを反映させたハザードマップを作成。
令和7年度に全世帯に配布する。



防災ハザードマップ
(イメージ図)

○土のうステーションの設置

役場敷地内に土のうステーションを整備。

住民自らが土のうを作成し、持ち帰ることが可能。



土のうステーション
(森町役場敷地内)

取組実績

取組予定

対象外

●今後5カ年のロードマップ

項目		令和6年度	令和7年度	令和8年度～
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	洪水・水害対応訓練の実施。避難発令マニュアルの見直し 等		
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	初動対応マニュアルの見直し 等		
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	避難計画の更新・訓練の干渉を実施	施設管理者への計画更新、訓練実施の推進 等	
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	監視カメラ等の要望実施	河川管理者への監視カメラ増設、適所設置の要望 等	
	■ 自主防災体制の強化	出前講座、防災連絡会等での講話を実施	水害リスクの高い地域等に対する情報提供、防災講座の実施 等	
	■ 水災害教育の充実	防災意識の高揚を図るための出前講座の実施	出前講座、セミナー、講習会の実施 等	
	■ 避難行動を促す取組	自主防災会への説明会を実施	自主防災会を対象とした説明会の実施 等	
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	同報無線・防災メール・SNS等を活用した情報発信の実施	ハザードマップ、防災ガイドブックの更新、マイタイムライン、わたしの避難計画の活用 等	
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	水防団による他市の水防演習の参加・水防講習会の実施	水防団員に対するの教育・訓練の実施 等	
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組	排水ポンプ導入	排水ポンプの運用・管理 等	
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進			
	■ 河川における機能の確保	土砂撤去や樹木伐採を実施	河道掘削及び支障木竹の伐採実施	
	■ 施設能力を上回る洪水への対応			
	■ 被害軽減のための迅速かつ確実な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	土のうステーションの整備	土のうステーションの運営・管理	
■ 河川管理施設の整備等に関する事項				
■ 被害対象を減少させる対策				

●令和7年度の取組予定

■ハザードマップを活用した避難計画作成の推進

小規模河川の浸水データを反映したハザードマップを活用し、マイタイムラインやわたしの避難計画の作成を推進する。



■水防体制の強化に向けた取組

水防体制の強化と技術向上を図るため、出水期前に水防工法講習会を継続して実施する。



- 令和6年度は、「わたしの避難計画」の普及、防災アプリ「静岡県防災」による自主防災体制の強化、「ふじのくに防災士養成講座」の実施、気象防災WSの実施等に取り組んでいる。
- 今後、水害リスク情報の共有による確実な避難の確保に向け、支援方策を継続実施していく。

●主な取組内容(R6年度)

○「わたしの避難計画」の普及

- ・「わたしの避難計画」の普及を図るため、静岡県立大学防災訓練での作成講座、JR静岡駅での啓発活動等を実施。
- ・「わたしの避難計画」の作成をサポートする「わたひな普及員」を養成する講座を民間企業向けにも実施し、更なる普及を促進。



静岡県立大学での作成講座
(令和6年11月12日)



地震防災強化月間での啓発
(令和6年11月29日)



わたひな普及員養成講座
(令和6年12月9日)

○「ふじのくに防災士養成講座」の実施

- ・防災に関する専門的知識を習得し、防災現場のリーダーとして活躍できる人材を養成するため、平成17年度から開講している。
- ・今年度は対面講座とオンライン講座を設定し、236人の修了者に知事認証を付与した。



令和6年度ふじのくに防災士養成講座Aコース
(令和6年9月13日)



静岡県ふじのくに防災士認定証

○防災アプリ「静岡県防災」による 自主防災体制の強化

- ・自主防災組織と情報共有を図るための「見える化機能」の運用。
- ・自主防災組織の点検及び現状把握を目的とした「防災カルテ」の普及。
- ・災害の情報や避難所の情報を自主防災組織からいち早く得ることを目的とした「災害状況投稿」の普及。



(防災カルテ)



(災害状況投稿)

○気象防災ワークショップの実施

- ・近年激甚化している風水害への対応について、様々な課題が見られたことから、今後の風水害に備えるために静岡地方気象台の協力を得て「気象防災ワークショップ」を開催し、風水害の際の体制強化のタイミングや避難の判断について勉強した。



(令和6年5月30日)

●今後5カ年のロードマップ

項目	取組実績			取組予定	対象外
	令和6年度	令和7年度	令和8年度～		
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	避難指示等発令の判断、マニュアル作成・検証に関する助言	避難指示等発令の判断、マニュアル作成・検証に関する助言		
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	タイムライン導入や検証に関する助言	タイムライン導入や検証に関する助言		
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	避難確保計画の作成、避難訓練の実施に関する助言	避難確保計画の作成、避難訓練の実施に関する助言		
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	ハザードマップの作成・周知に関する助言	ハザードマップの作成・周知に関する助言		
	■ 自主防災体制の強化	自主防と情報共有を図るための「見える化機能」の運用開始	自主防災組織へ被害状況集約システムや情報提供により活動支援		
	■ 水災害教育の充実	「ふじのくに防災士」の養成	「ふじのくに防災士」の養成		
	■ 避難行動を促す取組	「わたしの避難計画」サイト改修・作成講座、「マイ・タイムライン」普及の助言	「わたしの避難計画」、「マイ・タイムライン」の普及		
■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	投稿機能の運用、情報発信	防災アプリ「静岡県防災」による情報発信			
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組				
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組				
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進				
	■ 河川における機能の確保				
	■ 施設能力を上回る洪水への対応				
	■ 被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備				
	■ 河川管理施設の整備等に関する事項				
■ 被害対象を減少させる対策					

●令和7年度の取組予定

■「わたしの避難計画」、「マイ・タイムライン」について引き続き普及を図っていく

市町と連携し引き続き普及を図っていく。また、普及が円滑に進むよう地域での普及人材の育成を図るとともに、防災訓練での周知啓発を実施していく。



わたしの避難計画(浜松市)の例

■防災アプリ「静岡県防災」の利便性向上

システムの改良により、避難所支援機能や防災モニター機能(災害状況投稿)の市町及び自主防災組織の利便性の向上を図り、さらなる活用を目指して。



防災アプリ「静岡県防災」

- 令和6年度は、個別避難計画の市町取組支援として、「アドバイザー派遣制度」「市町意見交換会」「市町フォローアップ訪問」「取組報告会」の実施等に取り組んでいる。
- 今後、要配慮者の避難支援体制確保に向け、支援方策を継続実施していく。

●主な取組内容(R6年度)

○「アドバイザー派遣制度」の創設

・「個別避難計画」の取組を後押しするため、新たにアドバイザー派遣制度を創設し、依頼のあった市町に個別避難計画に精通した専門家や市町職員等を派遣。



案内チラシ

○派遣実績

森 町:5/27 町民児協 定例会
 牧之原市:8/28 福祉専門職への研修会
 御前崎市:12/11 ケアマネ連絡会
 湖西市 :2/13 市民児協 定例会
 牧之原市:2/24 要配慮者避難確保事業取組報告会

○アドバイザー

・静岡県立大学短期大学部社会福祉学科
 准教授 江原勝幸氏 他

○「市町意見交換会」の実施

・市町行政(防災部局、福祉部局)、福祉専門職を対象に、個別避難計画作成に係る課題等について共有・意見交換し、避難行動要支援者の支援を今年度以降においても着実に実施することを目的に開催。



賀茂会場意見交換会の様子(令和6年8月2日)

○開催実績

東部会場①:7/3 21名
 東部会場②:7/9 36名
 西部会場:7/10 31名
 中部会場:7/30 24名
 賀茂会場:8/2 23名
 計135名参加

○アンケート結果

参加者の約8割から満足・やや満足と回答を得た。

○市町フォローアップ訪問の実施

・市町の取組状況を把握し、フォローアップをするため、市町役場を訪問
 ・24の市町を訪問し、顔の見える関係を構築することができた。
 ・実際に訪問したことで県側の熱意を伝えることができ、取組の後押しにつながった。

○対面

磐田市、菊川市、御前崎市
 他21市町

○オンライン

掛川市、湖西市

フォローアップした市町

○取組報告会の実施(予定)

・今年一年の成果を共有するため、取組報告会を2/25に実施。
 ・外部講師や市町等から先進事例を紹介いただくなど、参加市町のより一層の取組促進を図る。



昨年度実施の様子
 (令和6年3月8日)

●今後5カ年のロードマップ

項目	取組実績			取組予定		対象外
	令和6年度	令和7年度	令和8年度～	令和6年度	令和7年度	令和8年度～
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組					
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定					
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	指導監査での助言、福祉施設等職員向け防災研修会の実施	指導監査での助言、福祉施設等職員向け防災研修会の実施			
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組					
	■ 自主防災体制の強化					
	■ 水災害教育の充実					
	■ 避難行動を促す取組	「個別避難計画」作成の取組支援	「個別避難計画」作成の取組支援			
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組					
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組					
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進					
	■ 河川における機能の確保					
	■ 施設能力を上回る洪水への対応					
	■ 被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備					
	■ 河川管理施設の整備等に関する事項					
■ 被害対象を減少させる対策						

●令和7年度の取組予定

■避難行動を促す取組
要配慮者の命を守る
「個別避難計画」について
市町の取組を支援

引き続き意見交換会や県作成の広報ツールを活用し、市町の取組を支援していく。また、全市町を訪問して取組状況をヒアリングするなど伴走支援を強化していく。



県で作成した広報ツール

■要配慮者施設における
確実な避難に向けた取組
指導監査での助言・研修

- ・引き続き、社会福祉法等に基づく指導監査において、防災管理体制等を確認、指導していく。
- ・施設の防災対策力を高めることを目的に、施設職員向けの研修を実施する。



社会福祉施設等職員防災研修会

- 令和6年2月に公表した「新たなステージに入った水災害に対する取組～令和4年台風第15号と令和5年台風第2号の教訓を踏まえて～」に示した「重点対策(29項目)」をロードマップに従い重点的かつ緊急的に実施していく。
- 令和6年は七夕豪雨災害から50年の節目の年であるため、これからの水災害について考える「流域治水シンポジウム」を開催するとともに、パネル展等の関連行事を行い、水災害の「自分事化」に取り組んだ。

● 主な取組内容(R6年度)

【重点対策(29項目)のうち、令和6年度に取り組んだ内容】

対策12

想定最大規模の洪水浸水想定区域図の作成・公表

洪水予報河川、水位周知河川以外の中小河川の洪水浸水想定区域図の作成により、住民に浸水リスクを周知するとともに、市町が作成するハザードマップへの反映を促していく。令和6年7月に浜松市の30河川の洪水浸水想定区域図を公表し、西部・中東遠地域の全河川において、公表が完了した。



対策27

流域の関係者間の連携強化

浸水被害が頻発する地域を対象に、流域治水の考え方を踏まえた「水災害対策プラン」を策定した。今後も、各地区で協議会を開催し、「水災害対策プラン」に基づく取組を着実に進めるとともに、関係者間の情報共有や多作の進捗管理を行っていく。

対策22

水災害リスクや「流域治水」に関するわかりやすい情報発信

・令和6年は七夕豪雨災害から50年の節目の年であるため、七夕豪雨の記憶を次世代に伝え、これからの水災害について考える「流域治水シンポジウム」を開催するとともに、県内のショッピング施設等でパネル展を行い、水災害の「自分事化」に取り組んでいる。



・水災害リスク情報や避難方法等をテーマとした「事前に備える防災講座」をYouTube(ユーチューブ)で公開し、ウェブサイト等にて流域治水に係る取組の紹介等の広報活動を行っている。



- ★ 令和2年度から実施 現在9本の動画を公開
- ★ 継続して動画を作成



静岡県西部・中東遠地域大規模氾濫減災協議会 今後5カ年のロードマップ

県 河川企画課

取組実績

取組予定

対象外

●今後5カ年のロードマップ

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度～
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組		
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	県管理河川のダムの機能や効果、操作に関する情報を流域住民等へ周知 等	
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組		
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	洪水予報河川、水位周知河川以外の中小河川の洪水浸水想定区域図の作成・公表	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図の作成 等
	■ 自主防災体制の強化		
	■ 水災害教育の充実	「事前に備える防災講座」の動画を作成し、YouTubeで公開	効果的な「水防災意識社会」再構築に役立つ情報や、浸水リスクを周知するための啓発資料の作成・活用
	■ 避難行動を促す取組	「事前に備える防災講座」としてマイタイムラインを紹介する動画をYouTubeで公開	マイ・タイムラインの推進
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信		
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組		
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組		
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進		
	■ 河川における機能の確保	河川内の堆積土砂撤去や樹木伐採等を実施	河川内の堆積土砂撤去や樹木伐採等による流下能力の保全 等
	■ 施設能力を上回る洪水への対応		
	■ 被害軽減のための迅速かつ確実な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備		
■ 河川管理施設の整備等に関する事項	太田川ダムの事前放流運用に伴うダム操作細則を一部改正	ダムの柔軟な運用	
■ 被害対象を減少させる対策		宅地建物取引業団体への水災害リスク情報等の説明	

●令和7年度の取組予定

■新たなステージに入った水災害に対する取組の実施

・令和6年2月に公表したレポート「新たなステージに入った水災害に対する取組～令和4年台風第15号と令和5年台風第2号の教訓を踏まえて～」に基づき、対策を着実に実施する。

・「流域治水」の本格的な実践のため、特定都市河川浸水被害対策法に基づく特定都市河川の指定を推進する。浸水被害が頻発している流域において、特定都市河川の指定に関する勉強会を開催するなど、関係市町と調整を進めていく。

●「事前に備える防災講座」の作成・周知・活用

YouTube動画の充実、出前講座等での周知・活用

●市町防災職員向けの研修会・意見交換会の開催

●水害危険性の周知促進（浸水ナビや静岡県GISに浸水想定区域の情報を掲載 等）

●マイ・タイムラインの推進 等

- 令和4年台風第15号と令和5年台風第2号の教訓を踏まえ、令和6年2月に公表した「新たなステージに入った水災害に対する取組」に示した「重点対策(29項目)」をロードマップに従い重点的かつ緊急的に実施していく。
- 引き続き、当課対象の取組を継続するとともに、関係機関との連携を図り、支援方を継続実施していく。

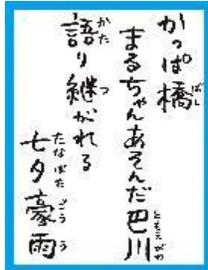
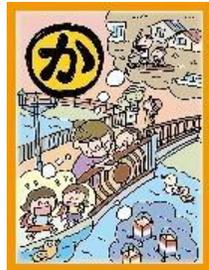
● 主な取組内容(R6年度)

【重点対策(29項目)のうち、令和6年度に取り組んだ主な内容】

出前講座や防災教育の強化

流域治水への理解や水災害の自分事化の促進を図るため、『しぞ〜か防災かるた(豪雨の備え編)』を作成した。

住民目線の句となるよう、作成にあたり、学生と市民団体が協働するワークショップ(西部地域では袋井商業高校)を開催した。



(ワークショップの様子とかるた完成例)

洪水予報河川及び水位周知河川以外の その他河川(対象外河川除く)における洪水浸水想定区域の指定

袋井・浜松土木事務所管内における対象河川すべての洪水浸水想定区域図の作成・公表が令和6年7月までに完了したため、水防法に基づく区域の指定を実施する。また、区域指定により義務化される市町のハザードマップ作成を支援していく。

円滑で確実な避難に資する情報発信

新たなステージに入った水災害に対し、質の高い最新の防災情報を県民に提供し、「逃げ遅れゼロ」の実効性を高めることを目的とした「防災・減災に向けた包括連携協定」を民間気象会社と締結した。

今後は、社会実験を通じた新たな防災モデルの実装を目指し、これまで以上に行政と民間気象会社がさらに連携を深め、防災・減災の実現を目指していく。



(包括連携協定締結式)

ホットラインや洪水対応演習等の情報伝達訓練の充実

出水期前に水防警報等の情報を迅速かつ的確な伝達体制に万全に期すことを目的に、県管理河川を対象とする洪水対応演習を実施した。

【訓練実施日時】
令和6年6月13日
8時30分～16時30分



(県水防本部：訓練状況)

取組実績

取組予定

対象外

●今後5カ年のロードマップ

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度～
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	洪水対応演習実施	ホットラインや洪水対応演習等の情報伝達訓練の充実
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	支援体制継続	タイムラインの導入の推進及び訓練による検証
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	説明会等を実施	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成支援(説明会等)
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	観測データ蓄積、保守点検実施	危機管理型水位計・河川監視用カメラ等の設置検討、見直し、適切な保守点検を実施
	■ 自主防災体制の強化	重要水防個所等を水防計画書及び県GISにて公表	水害リスクが高い区間などに関する情報提供と説明会の開催
	■ 水災害教育の充実	県庁見学会を実施	浸水リスクを周知するための啓発資料の作成、既存資料の更新
	■ 避難行動を促す取組	SIPOSにて、雨量・水位等のリアルタイム情報の提供を継続	県庁見学会等を活用し、住民向けの防災情報の提供
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	民間気象会社と包括連携協定を締結し、新たな防災体制の構築を目指す。	包括協定に基づき、防災・減災の実現に向けた連携業務の実施
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	水防団の活動実績等の県HPへの掲載	水防訓練や水防演習等の実施による水防団等との連携
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組	建設会社等のポンプの保有数を集計し、共有	地域が有するポンプ等(建設会社等)の活用に向けた情報の整理と共有
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進		
	■ 河川における機能の確保		
	■ 施設能力を上回る洪水への対応		
	■ 被害軽減のための迅速かつ確実な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	正確な水位等の情報を関係機関と提供、保守点検実施	円滑な水防活動のため橋梁等への簡易水位計・量水標の設置検討、適切な保守点検を実施
■ 河川管理施設の整備等に関する事項			
■ 被害対象を減少させる対策		宅地建物取引業団体への水災害リスク情報等の説明	

●令和7年度の取組予定

■ 水災害教育の充実、避難行動を促す取組

- ・県庁見学会等を活用し、水害リスクや情報の入手方法等を周知啓発する。
- ・防災かるたを活用した防災教育を普及、促進する。



(令和6年度県庁見学会の様子: 土木防災情報センター)

■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組

- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の支援として、避難確保計画の作成に至る経緯、必要性、訓練実施等について、市町関係職員等に説明会を実施する。(Webを活用した動画配信)
- ・市町が施設管理者等へ説明会を実施する際に、水害リスク情報について説明する講師を派遣し支援する。

- 小中学校で出前講座を開催し、過去の水害・土砂災害、洪水時のリスク、流域治水の取組等を学び、児童自らが水害に対し「自分ができること」を考えるきっかけづくりに取り組んだ。
- 水害時の水防業務を遅滞なく行うよう、管理河川の破堤を想定したタイムラインに基づくシナリオ読み上げ訓練を実施し、水防業務の手順等を確認した。

●主な取組内容(R6年度)

○学校と連携した水災害(防災)教育の取組

小中学校の出前講座の要請を受け、学校側と相談しながら講座内容を検討し、リスクコミュニケーションを行った。



笠井小学校出前講座 (R6.10.18)



蒲小学校出前講座 (R6.11.07)



村櫛小学校出前講座 (R6.6.19)



与進小学校出前講座 (R7.1.14)

○管理河川の破堤を想定したシナリオ読み上げ訓練を実施

土木技術職員の水防班長を対象にタイムラインに基づくシナリオの読み上げ訓練を実施した。



水防班長訓練 (R6.6.11)

○水防法河川以外の洪水浸水想定区域図の作成

水害リスクの空白域の解消に向け、天竜区内の県管理の30河川について洪水浸水想定区域図の作成を進めた。



●今後5カ年のロードマップ

項目		取組実績		取組予定	対象外
		令和6年度	令和7年度	令和8年度～	
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	洪水対応演習等を実施	ホットラインや洪水対応演習等の情報伝達訓練の充実		
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	タイムラインに基づく訓練を実施	タイムラインの導入の推進及び訓練による検証、職員の誰もが水害対応できるチェックリストの作成		
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	施設管理者等への理解促進			
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	洪水浸水想定区域図の作成	危機管理型水位計・河川監視用カメラ配置計画の整備及び見直しの実施、水害危険性の周知促進		
	■ 自主防災体制の強化				
	■ 水災害教育の充実	小中学校への出前講座を実施	学校などと連携した洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の拡充・支援体制の構築		
	■ 避難行動を促す取組	小中学校への出前講座を実施	雨量や水位に係るリアルタイム情報の提供、出前講座等を活用した住民向けの防災情報の説明会・訓練の充実		
■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	SIPOs広報チラシの配布	水害時の情報入手のしやすさ・分かりやすさを支援するための広報活動の実施			
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	水防活動や緊急復旧活動に活用する資材の充実の検討			
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組	排水ポンプ車出動要請の連絡体制を整備し、排水計画に基づく排水訓練を実施			
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進	河川整備計画・水災害対策プランに基づく治水対策の実施	河川整備計画等に基づく治水対策の着実な推進		
	■ 河川における機能の確保	馬込川・気田川等で河道掘削を実施	河川内の堆積土砂撤去や樹木伐採等による流下能力の保全		
	■ 施設能力を上回る洪水への対応	粘り強い堤防化の推進 等			
	■ 被害軽減のための迅速かつ確実な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	円滑な水防活動のため橋脚等への簡易水位計・量水標設置			
	■ 河川管理施設の整備等に関する事項	都田川ダムの柔軟な運用			
■ 被害対象を減少させる対策	出前講座を実施	ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組(出前講座、マイ・タイムライン、避難訓練等)			

●令和7年度の取組予定

■水災害教育の充実

「伝わる」ことに主眼を置いた出前講座の開催

- ・小中学校からの出前講座の要請を受け、企画段階から参加者の意向等を確認し、「伝わる」講座内容を提案する。
- ・「防災カードゲーム」等のツールを活用し、受講者が家庭や地域に「伝え」、水災害教育の普及が進むよう工夫する。



■確実な避難指示の発令に向けた取組

中小河川破堤対応のシナリオ読み上げ訓練を実施

- ・水害時の水防業務を遅滞なく行うよう、タイムラインに基づくシナリオ読み上げ訓練を実施する。
- ・出水期前に、管内市等の関係機関との連携を確認し、水害時に遅滞なく水防業務を行う。



- 令和5年度に住民自らが避難に資する防災情報を収集することを目的に、新たな視点にたった河川監視カメラ及び水位計の設置を推進する目的で、管内市町からの設置要望を取りまとめた。令和6年度は、この要望に基づき、袋井市と御前崎市において、監視カメラを設置した。（年度末までに設置予定）
- 頻発化・激甚化する豪雨による施設被害に備え、令和5年度末に水防資機材のストックヤードが完成し、令和6年度は、応急復旧に早急に活用できる根固めブロックなどの備蓄が整った。

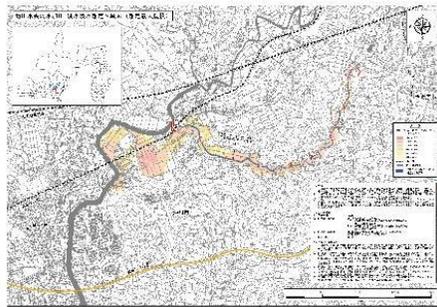
●主な取組内容(R6年度)

○水害リスク情報等の共有に向けた取組

- 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図等の公表

【実施内容】

- ・「菊川など13河川について、洪水浸水想定区域図」を公表（管内 3水系13河川）【R6.3.29】
- ・管内市町に浸水想定区域図のGISデータを提供し、ハザードマップ作成の推進支援を行った。



菊川水系沢水加川洪水浸水想定区域図
(R6.3.29公表)

○地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組

- 水防訓練の参加

【実施内容】

- ・管内市町が実施する水防演習に参加。訓練を通じて関係機関との連携を密にし、水防体制強化を目的とした。また、若手職員が水防実務に関する現場体験の貴重な機会として、訓練に参加。



R6.6.2 菊川市水防演習

○避難行動を促す取組

- 河川監視カメラの設置

【実施内容】

- ・令和6年度は袋井市と御前崎市において、住民自らが避難に資する防災情報を収集するための「河川監視カメラ」を3箇所 設置(年度末完成予定)した。



【監視カメラの設置イメージ】
現時点で施工中

○被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

- 水防資材ストックヤードへの備蓄資材の配備

【実施内容】

- ・令和4年台風15号及び令和5年台風2号の際に明らかになった課題に対し、有事に備え、完成した水防資機材ストックヤードに、応急復旧に早急に活用できる備蓄資材が整った。



備蓄資材の配備が完了したストックヤード
(磐田市明ヶ島)

●今後5カ年のロードマップ

項目		取組実績		取組予定	対象外
		令和6年度	令和7年度	令和8年度～	
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	洪水対応演習の実施	洪水対応演習・ホットライン訓練実施 等		
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定		必要に応じた情報通信機器の更新、避難マニュアル等の見直し支援 等		
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組		施設管理者への説明会を適宜支援 等		
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	洪水浸水想定区域図の作成等	必要に応じた市町へのリエゾン派遣 等		
	■ 自主防災体制の強化				
	■ 水災害教育の充実	出前講座の実施 等	出前講座の継続実施 等		
	■ 避難行動を促す取組	監視カメラの設置	サイボスレーダーを活用した雨量・水位に係るリアルタイム情報の提供等		
	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信		サイボスレーダーの周知・普及 等		
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	水防訓練への参加	重要水防箇所の合同巡視開催、水防訓練への参加 等		
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組		災害協定を締結する協力業者に対する保有機材調査及び管内市町への情報共有 等		
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進	治水対策の加速化	河川整備計画等に基づく治水対策を継続実施 等		
	■ 河川における機能の確保	河道掘削等の実施	河道掘削、樹木伐採等による河川流下能力の確保		
	■ 施設能力を上回る洪水への対応	堤防舗装工事等の実施	粘り強い堤防化の推進 等		
	■ 被害軽減のための迅速かつ確実な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	水防資材ストックヤードへの資材配備	危機管理型水位計の設置 等		
	■ 河川管理施設の整備等に関する事項		事前放流の実施をはじめとする太田川ダムの柔軟な運用 等		
	■ 被害対象を減少させる対策	LP測量による土砂災害警戒区域の新規抽出	LP測量による土砂災害警戒区域の新規抽出 等		

●令和7年度の取組予定

■流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進

令和6年度に「一雲済川」、「ぼう僧川・今之浦川」、「敷地川」、「袋井市中部3河川」の4流域で策定した【水災害対策プラン】に基づく、河川改修と流域対策を関係機関と連携して強力に推進していきます。



敷地川流域治水対策推進協議会 (R6.5.29)

■水災害教育の充実
出前講座の実施

学校などと連携した洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の拡充・支援体制の構築を継続的に行っていきます。



今井小学校_出前講座開催状況

- 天竜川水系（佐久間ダム・水窪ダム・秋葉ダム・船明ダム）のダム諸量データを「川の防災情報」上で公開
- 秋葉ダム下流の西川地区において、防水水門扉操作・排水設備操作の実働訓練を年1回実施
- 出水時において事前放流実施要領に基づくダム運用を実施
- ダムの機能や効果、操作に関する情報周知

●主な取組内容(R6年度)

○住民の避難行動につながるダム放流情報等の提供

- 天竜川水系（佐久間ダム・水窪ダム・秋葉ダム・船明ダム）のダム諸量データを「川の防災情報」上で公開している。

ダム名	貯水量	全容量	貯水率	放流量	放流率
佐久間ダム	263,439m³	1,000,000m³	26.3%	0m³	0%
水窪ダム	52,350m³	200,000m³	26.2%	0m³	0%
秋葉ダム	306,379m³	1,000,000m³	30.6%	0m³	0%
船明ダム	125,894m³	500,000m³	25.2%	0m³	0%
龍田ダム	95,400m³	400,000m³	23.9%	0m³	0%
龍田水門	0m³	100,000m³	0%	0m³	0%
天竜川	950,000m³	1,000,000m³	95%	0m³	0%

○関係機関が連携した実働水防訓練の実施

- 秋葉ダム下流の西川地区において、防水水門扉操作・排水設備操作の実働訓練を年1回実施している。

<令和6年度実績>

実施日: 令和6年5月24日

参加者: 龍山協働センター、地元住民、J-POWERグループ社員



(西川地区防災訓練)

○ダムの柔軟な運用への協力

- 出水時において事前放流実施要領に基づくダム運用を実施している。(2024年8月台風10号 対応等)

○ダムの機能や効果、操作に関する情報を流域住民等へ周知

- 天竜川水系ダム放流説明会を2年に1回実施している。内容はダム設備概要、ダム放流の概要を説明し、ダム放流時の連絡先等に関係機関に周知している。

<令和5年度実績>

実施日: 令和5年8月3日

出席者: 国道交通省中部地方整備局、浜松市、磐田市、浜松市消防局、磐田市消防署、静岡県企業局西部事務所

取組実績

取組予定

対象外

●今後5カ年のロードマップ

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度～
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組		
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	住民の避難行動につながるダム放流情報等の提供(天竜川水系ダム諸量データの川の防災情報への公開(継続))	住民の避難行動につながるダム放流情報等の提供(天竜川水系ダム諸量データの川の防災情報への公開(継続)) ダムの機能や効果、操作に関する情報周知(天竜川水系ダム放流説明会の開催(2年に1回))
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組		
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組		
	■ 自主防災体制の強化		
	■ 水災害教育の充実		
	■ 避難行動を促す取組		
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信		
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	関係機関が連携した実働防災訓練の実施(西川地区防災訓練の開催(毎年))	関係機関が連携した実働防災訓練の実施(西川地区防災訓練の開催(毎年))
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組		
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進		
	■ 河川における機能の確保		
	■ 施設能力を上回る洪水への対応		
	■ 被害軽減のための迅速かつ確かな水防活動、排水活動に資する基盤等の整備		
■ 河川管理施設の整備等に関する事項	ダムの柔軟な運用への協力(天竜川水系(下流)洪水機能調節協議会への参画・事前放流実施要領に基づくダム運用)	ダムの柔軟な運用への協力(天竜川水系(下流)洪水機能調節協議会への参画・事前放流実施要領に基づくダム運用)	
■ 被害対象を減少させる対策			

●令和7年度の取組予定

■ダムの柔軟な運用への協力(継続)

- ・国土交通省が設置する天竜川水系(下流)洪水機能調節協議会に参画する。
- ・出水時において事前放流実施要領に基づくダム運用を実施する。

■関係機関が連携した実働水防訓練の実施(継続)

- ・関係機関と連携し、大規模出水を想定した西川地区の増水対策として防水門扉および排水設備の訓練を実施する。



西川地区防災訓練

- 重要施設(八幡変電所・小林変電所)の浸水対策の実施
- 駅カメラ遠隔監視システムの導入

●主な取組内容(R6年度)

重要施設の浸水対策①

R5年度に自動車学校前変電所に浸水対策を実施した。

R6年度は八幡変電所、小林変電所ならびに継電器室についても浸水対策を実施。(年度未完了の予定)

八幡変電所

- ・ 扉を浸水対応扉に変更。
- ・ 吸気口の浸水対策。



重要施設の浸水対策②

小林変電所ならびに継電器室

- ・ 扉を浸水対応扉に変更。
- ・ ハンドホールを嵩上げ。
- ・ 変電所建屋の再塗装。



●今後5カ年のロードマップ

項目		取組実績 → 取組予定 → 対象外		
		令和6年度	令和7年度	令和8年度～
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組			
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	各駅周辺の避難場所(自治体設定)の把握	HPIに自治体避難情報のURL掲載を検討	
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組			
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組			
	■ 自主防災体制の強化			
	■ 水災害教育の充実	西部中東遠地域減災協議会パンフレット等配布の実施	西部中東遠地域減災協議会パンフレット等を活用し、駅構内スペース等での掲示・配布を予定	
	■ 避難行動を促す取組			
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信			
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組			
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組			
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進			
	■ 河川における機能の確保			
	■ 施設能力を上回る洪水への対応	重要施設の浸水対策の実施	河川の氾濫が発生した場合にも浸水に耐えられるよう施設の整備の実施	
	■ 被害軽減のための迅速かつ確実な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備			
■ 河川管理施設の整備等に関する事項				
■ 被害対象を減少させる対策				

●令和7年度の取組予定

■重要施設の浸水対策の実施

R5年度に自動車学校前変電所に浸水対策を実施した。
R6年度は八幡変電所、小林変電所ならびに継電器室についても浸水対策を実施。(年度末完了の予定)
R7年度にもその他電気施設の浸水対策を実施検討。

■各駅周辺の避難場所(自治体設定)の把握

HPIに自治体避難情報のURL掲載を検討する。

■減災協議会パンフレット等配布の実施

駅構内スペースでの配布を予定。

- 大雨時の運行状況や運行計画をHPやTwitterで配信している。
- 台風の影響などにより、計画運休を実施する際には、事前に駅に掲示物を掲載する他、沿線の役所や学校等に電話連絡を実施している。

● 主な取組内容(R6年度)

○ 重要施設の浸水対策の実施

- ・ 施設の更新等により、防水化の強化を進めていく。
- ・ 車両基地の浸水被害が予測される場合の避難等の手順を定める「車両基地浸水被害対策計画」を制定済み。
- ・ マクラギ交換やバラスト交換時に、排水溝の改良等を進め、線路面の浸水を防いでいる。

○ 確実かつ迅速な情報の提供と地域住民との情報共有

- ・ 「重ねるハザードマップ」、「浸水ナビ」のリンク先をHPに掲載。(R4.12)
- ・ 大雨時の運行状況や今後の運行計画等をHPやTwitterで公開。(継続)
- ・ 駅員のいない駅では、有人駅からの遠隔放送にて列車の運行状況などをご案内している。(継続)
※無人駅には遠隔放送できる体制を構築済。

取組実績

取組予定

対象外

●今後5カ年のロードマップ

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度～	
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組			
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	重要施設の浸水対策、大雨時の運行状況をHPやTwitterで公開、計画運休時に沿線学校と情報共有		
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組			
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組			
	■ 自主防災体制の強化			
	■ 水災害教育の充実	減災協議会のパンフレットやハザードマップ等を活用し、駅構内スペースで掲示・配布	浸水リスクの周知など、その他の減災に役立つ情報発信について、関係機関と連携し検討を進める。	
	■ 避難行動を促す取組			
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組			
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組			
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進			
	■ 河川における機能の確保			
	■ 施設能力を上回る洪水への対応			
	■ 被害軽減のための迅速かつ確かな水防活動、排水活動に資する基盤等の整備			
	■ 河川管理施設の整備等に関する事項			
■ 被害対象を減少させる対策				

●令和7年度の取組予定

■ 列車の運行に関する情報をわかりやすく発信

- ・ 災害発生時等の運行状況・復旧見込など、お客様への情報発信をより正確に、早く発信できるよう努めていく。
- ・ 軌道やその他設備の保守・更新等を進め、引続き安定した列車の運行ができるように進めていく。

■ 確実かつ迅速な情報の提供と地域住民との情報共有

- ・ 駅の掲示板にその駅を中心とした浸水リスクを確認できる「重ねるハザードマップ」のQRコードの掲示を進めていく。

駅掲示のQRコード

重ねるハザードマップ

日頃ご利用いただいている駅周辺の災害リスク情報を確認しましょう。

掛川駅



このQRコードを読み取って確認！



天竜浜名湖鉄道株式会社

- 引き続き、学校や自治体に対し、ワークショップや出前講座等を実施した。
- 予報技術の向上や防災気象情報の迅速かつ適時的確な発表を行い、関係機関および流域治水プロジェクトの取組との連携を図り、支援方を継続実施していく。

● 主な取組内容(R6年度)

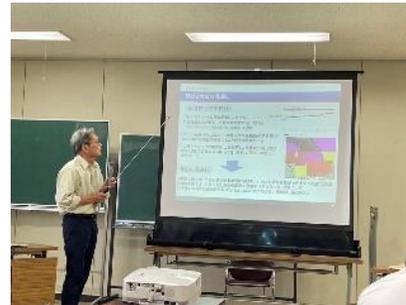
○ 気象庁ワークショップや出前講座の実施

大雨時の気象情報の使い方などについて、小・中学校や一般の方を対象に気象庁ワークショップや出前講座を実施している。



○ 気象防災ワークショップや出前講座の実施

自治体の防災担当者を対象に、気象防災ワークショップや出前講座を実施している。



○ 線状降水帯の予測精度向上等に向けた取り組み

線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけの情報が、これまでは地方単位で呼びかけていたものを、令和6年5月27日からは、対象地域を府県単位で呼びかけることになった。

東海地方

大雨に関する静岡県気象情報 第○号
○年○月○日○時○分 静岡地方気象台発表
<見出し>
東海地方では、○日夜には、線状降水帯が発生して大雨災害発生危険度が急激に高まる可能性があります。
<本文>
… (中略) …

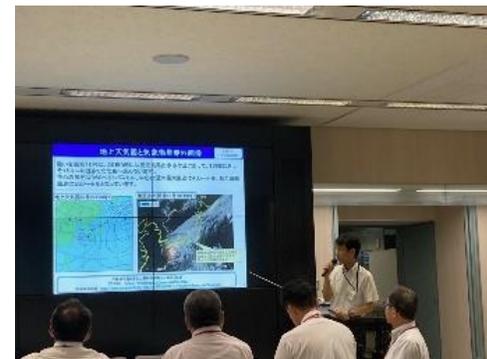
静岡県

大雨に関する静岡県気象情報 第○号
○年○月○日○時○分 静岡地方気象台発表
<見出し>
静岡県では、○日夜には、線状降水帯が発生して大雨災害発生危険度が急激に高まる可能性があります。
<本文>
… (中略) …

絞り込んで発表
対象地域を

○ 気象庁防災対応支援チーム(JETT)を派遣

JETTを静岡県庁に派遣し台風に関する説明会を計3回行い、今後の天候や警報・注意報の見通しを解説した。



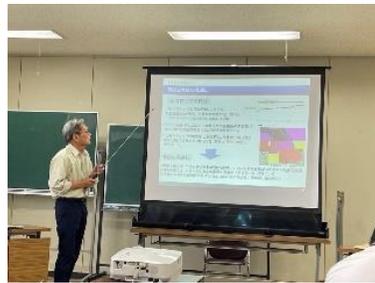
●今後5カ年のロードマップ

項目		取組実績			取組予定			対象外		
		令和6年度	令和7年度	令和8年度～	令和6年度	令和7年度	令和8年度～	令和6年度	令和7年度	令和8年度～
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	洪水対応演習、ホットライン訓練実施 等	洪水対応演習、ホットライン訓練実施 等							
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	洪水時の情報伝達体制・方法について関係機関と検討 等	洪水時の情報伝達体制・方法について関係機関と検討 等							
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	施設管理者への説明会を適宜実施 等	施設管理者への説明会を適宜実施 等							
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	気象庁HPの改善 等	気象庁HPの改善 等							
	■ 自主防災体制の強化	自主防災組織への説明会を適宜実施 等	自主防災組織への説明会を適宜実施 等							
	■ 水災害教育の充実	ワークショップ・出前講座を適宜実施 等	ワークショップ・出前講座を適宜実施 等							
	■ 避難行動を促す取組	気象情報や防災に関する啓発活動を適宜実施 等	気象情報や防災に関する啓発活動を適宜実施 等							
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	情報の見方や入手方法の啓発活動を適宜実施 等	情報の見方や入手方法の啓発活動を適宜実施 等							
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	水防訓練への参加 等	水防訓練への参加 等							
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組									
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進									
	■ 河川における機能の確保									
	■ 施設能力を上回る洪水への対応									
	■ 被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備									
■ 河川管理施設の整備等に関する事項										
■ 被害対象を減少させる対策										

●令和7年度の取組予定

■自治体の防災担当者の支援

・自治体の防災担当者は、防災担当が初めてという職員も多いため、気象情報の利活用や、防災対応の習得を目指すため、気象防災ワークショップを実施する。



■学校防災の支援

・小・中学校では気象庁ワークショップや出前講座を実施。気象情報の意味や入手方法、ハザードマップの見方などを啓発することで、生徒の自助行動に繋げる。



- 令和6年度は、「重要水防箇所の合同巡視」、「要配慮者施設における避難訓練支援」、「流域一体型タイムライン作成に向けた意見交換会」、「流域住民の防災減災知識の普及啓発活動」等に取り組んだ。
- 今後、関係機関および流域治水プロジェクトの取組との連携を図り、支援方策を継続実施していく。

●主な取組内容(R6年度)

○天竜川・菊川重要水防箇所の合同巡視

洪水時の迅速な水防活動に資する情報を共有するため、国土交通省 浜松河川国道事務所では、菊川・天竜川流域の自治体職員や消防団員、防災エキスパートと共に、洪水時に危険が予想され、重点的に巡視点検が必要な箇所（重要水防箇所）の合同巡視を実施した。



菊川・天竜川重要水防箇所の合同巡視
(令和6年5月15日、5月16,17日)

○要配慮者施設におけるセニアカーを活用した避難訓練を実施

「要配慮者避難確保計画作成・訓練実施」の取組について、計画内容の精査と発災時における実効性向上が課題となっているため、課題解決に向けて、要配慮者施設におけるセニアカー導入による職員の負担軽減の把握を目的とした避難訓練を、スズキ株式会社、デイサービスセンター砂丘荘のご協力により実施した。



セニアカーを活用した避難訓練
(令和6年11月25日)

○流域一体型タイムライン運用に向けた読み合わせ訓練を実施

菊川流域と天竜川下流域の関係機関の防災担当者が集結し、流域一体型タイムラインの具体的な行動をまとめた「対応行動整理表」の読み合わせ訓練と、事前の危機感共有に関するWeb会議の模擬開催を実施した。

また自機関の流域一体型タイムラインの記載内容を確認するとともに、流域一体型タイムラインの運用に向けた意見交換を実施し、「対応行動整理表」の不明点や調整事項を明確にした。



流域一体型タイムライン読み合わせ訓練
(令和6年5月20日、27日)

○流域住民の防災減災知識の普及啓発活動を実施

流域治水の重要性や防災・減災の普及啓発などを目的に、株式会社静岡新聞社と連携し、新聞媒体を活用した地域住民への情報発信を実施した。

新聞記事には、静岡県西部・中東遠地域での水防災や流域治水への民間企業の参入・連携などについて、磐田市長、菊川市長、株式会社JX通信社、株式会社静岡新聞社と5者会談した内容を掲載予定である。



流域治水などへの民間企業の参入・連携に向けた5者会談
(令和7年3月10日)

●今後5カ年のロードマップ

項目		取組実績			取組予定			対象外		
		令和6年度	令和7年度	令和8年度～	令和6年度	令和7年度	令和8年度～	令和6年度	令和7年度	令和8年度～
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	洪水対応演習による、ホットライン確認の実施 等	洪水対応演習・ホットライン訓練実施、発令基準を適宜見直し 等							
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	対応行動整理表に関する勉強会実施 等	対応行動整理表の更新、洪水時の情報伝達体制・方法について関係機関と検討 等							
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	避難確保計画作成の周知 等	施設管理者への説明会を適宜支援及び実施 等							
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	対応行動整理表に関する勉強会実施 等	危機管理型水位計・河川監視用カメラ配置計画を適宜見直し 等							
	■ 自主防災体制の強化	2024年5月に重要水防箇所合同巡視を実施	引き続き水害リスクが高い区間等に関する情報の提供と説明会を実施 等							
	■ 水災害教育の充実	3Dハザードマップ、浸水体験ARの作成検討	出前講座・セミナーの開催 等							
	■ 避難行動を促す取組	マイ・タイムライン検討ツール(逃げキッド)の説明実施 等	防災に関する知識の習得や防災に関する啓発活動や防災教育などに活用できる資料作成支援 等							
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	西部中東遠地域減災協議会の取組紹介パンフレットを配布	主旨が伝わりやすい情報提供の促進や情報の入手に関する広報誌等の作成・配布 等							
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	2024年5月に重要水防箇所合同巡視を実施	重要水防箇所の合同巡視開催、水防訓練への参加 等							
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組	必要に応じて排水作業準備計画の見直しを実施	必要に応じて排水作業準備計画の見直し、地域が有するポンプ等の情報把握 等							
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進	浸水被害軽減地区の検討を必要に応じて実施	河川整備計画等に基づく治水対策を継続実施 等							
	■ 河川における機能の確保	自治体への、河川管理の高度化の検討に関する資料の共有	河道内土砂掘削及び樹木伐採実施、国が実施するプロジェクトの情報収集及び関係機関への情報提供 等							
	■ 施設能力を上回る洪水への対応	危機管理型ハード対策の検討の継続実施	ハード対策の継続実施							
	■ 被害軽減のための迅速かつ確実な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	2024年5月に堤防決壊時の緊急対策シミュレーションの実施	河川防災ステーションの整備、水位等の情報を関係機関と共有するための施設整備 等							
■ 河川管理施設の整備等に関する事項	利水ダムを含めたダムの洪水調節機能強化検討	ダムの洪水調節機能強化のため治水協定締結及び実施要領策定								
■ 被害対象を減少させる対策	被害対象を減少させるための支援	被害対象を減少させるための支援を継続実施する。								

●令和7年度の取組予定

■ 広域避難の検討ワークショップの実施

確実な避難指示の発令や避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定の取組として、天竜川流域に必要な広域避難に関する施策や、水害時の避難に係る隣接自治体との協定締結に向けた課題についてのワークショップを実施予定です。



広域避難の検討ワークショップ

■ 企業BCP作成支援勉強会の実施

避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定支援の取組として、掛川みなみ商工会・掛川商工会議所・菊川市商工会と浜松河川国道事務所の協働で、商工会議所所属企業を対象に、企業BCP(水害版)作成勉強会を企画しており、年度明けに実施予定です。



企業BCP作成支援勉強会